

事業報告書（令和元年度）

事業名 地域を活かす農業と食の安全

団体名 おかやまエコマインドネットワーク 担当者名 藤原 幸蔵

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）	
日時	令和元年6月30日 10:00~12:30
場所	岡山市高島公民館
参加対象者	一般地域住民 21人 子ども 21人 講師 4人 おかやまエコマインドネットワーク会員 9人
	参加者計 55人
活動内容	
1 農業生産法人ワッカファーム代表・佐々木竜也氏の講演 佐々木氏と就農を志す若者が耕作放棄地を開墾し無農薬完全露地栽培の野菜を生産し販売している。取り組んでいる農業の姿を紹介するとともに、何故、取り組んでいるか、無農薬などの考え方、種等について講演を実施。	
2 生ごみ堆肥箱を開発した山崎泰二氏の講演 可燃ごみの40%を占める生ごみにコストをかけて焼却するのではなく家庭で堆肥化し、家庭菜園等に施肥して「食の循環」「ごみ減量」「CO2排出減」を広める活動をしている山崎氏の講演を実施。	
3 子ども達には、別室で別プログラムとして、フェアトレードについて、岡山フェアトレードの会の野本恭子氏により、分かり易く説明。その後、フェアトレードのチョコレート、バナナを使用してチョコバナナを作成・試食。	
4 フェアトレードについての講演。 子ども達の別プログラムを指導をした、野本恭子氏による大人たちへのフェアトレードについて簡易的な講演を実施。	
5 ワッカファームで栽培し、販売されている有機無農薬野菜等を材料に、おかやまエコマインドネットワーク会員が作った料理の試食。 野菜本来の味の再確認を促す。	
2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ	
ワッカファーム佐々木氏が実践する農業は在来種を使った有機無農薬栽培で、持続可能となっている。また、生産者の顔が見え、安心できる食料を提供している。 また、山崎氏が推進する家庭生ごみの堆肥化は、食の循環・焼却ごみ減量・二酸化炭素排出減に貢献している。 更に、子ども達の別プログラム及び、大人へのフェアトレードの講演におけるフェアトレードの会の方の話は、ESDで重要とされている社会・経済・環境のバランスについて分かり易い内容となっている。 いずれもESDに直結している。	
3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）	
参加者アンケートの結果、次のような意見、感想があった。 ・色々な話が、ちょっとずつ聞けて良かった。子どもプログラムも、助かった！ ・時間が少なく内容が足りない ・もう少し詳しくお話を伺いたかったです。	

- ・家庭で行っていける実践的な内容をもっと詳しく聞きたかったです。
 - ・話だけでなく実習や体験ができるものを取り入れてもらったらうれしく思います。
 - ・今はまだ何もしていませんが今日のお話を聞いて「食」について考えてみたいと思いました。
 - ・買物行く時は、マイバックを持って行っている。自分でできることはできるだけやっていきたい。
 - ・フェアトレードはこれから気にして見ていきたいし、手に取りたいです。畑や田んぼの土についても興味が湧きました。
 - ・コンポストを作って実際に野菜を作りたいと思います。
 - ・「フェアトレード」、実ははじめて聞きました。お話を聞ける機会をいただき有難うございました。
 - ・有機野菜、生ごみを堆肥、フェアトレードの話、大変勉強になりました。
 - ・有機無農薬野菜の土づくり、家庭菜園でもできることを具体的に教えてもらいたいです。
 - ・改めて周辺の環境、自然に体して目を向けていきたいと思いました。
- 自発的な意見が増え、具体的な次のステップに対する内容も含まれるようになり私たちの思いを理解してくれていると感じることが出来た。

4. 今後の課題と展望

参加者を増やすためには、当該公民館の協力が必須であることは、これまでの経験より学んでいる。その為、高島公民館の婦人会、クラブなどへの呼びかけがポイントであることより、高島公民館の協力のもと声掛けを実施、また、今回は小学校に対応のチラシを事前に置かせて貰った。大人の応募は今一であったが、子どもの応募は順調であった。

高島公民館協力のもと近くの小学校への募集を実施した。その結果、予定を越える応募があり、6組ではあるが、親子での応募があった。今後も、親子での参加を更に増やす工夫をすることで子どもへの啓発を進めるとともに、親子で参加することで子育て世代の参加を増やしていきたい。また、公民館で広がるような仕掛けづくりを考えていきたい。

事業の内容については、参加者自らの次のアクションを示唆するもの及び、我々の活動に対する明確な要望を確認することができ、満足できる結果であった。今後、身近な“食”にフォーカスし活動の継続をしたいと考えている。食品ロスに関するイベントも実施しているので、今後は連携を強化したイベントをいろいろな地域で開催できればと考えている。更にステップアップし、サルベージパーティー等の展開も考えていきたい。

挨拶

当団体の代表：田淵 知子

①



公民館職員挨拶

②



農業生産法人ワッカファーム代表・佐々木竜也氏の講演

③



④

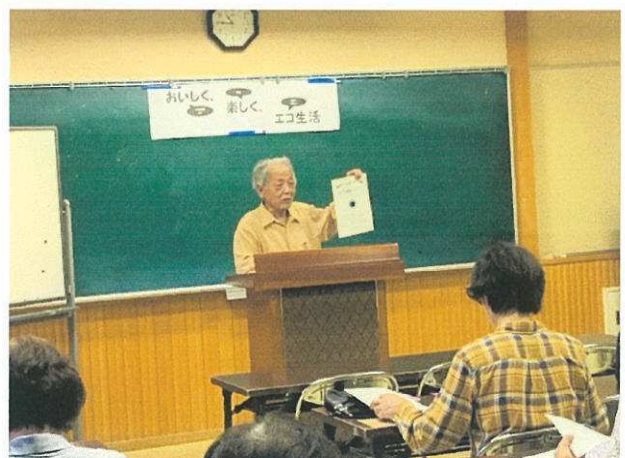


生ごみ堆肥箱を開発した山崎泰二氏の講演

⑤



⑥



子ども達の特別ワークショップ

「岡山フェアトレードの会の野本恭子氏によるフェアトレードの説明後、
チョコバナナを作成・試食」

⑦



⑧



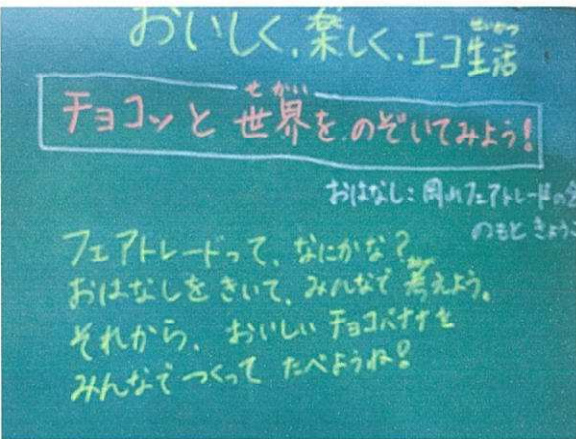
⑨



⑩



⑪



⑫



岡山フェアトレードの会の野本恭子氏によるフェアトレードについての講演

⑫



⑭



おokayamaエコマインドネットワーク会員が作った調理・料理

⑮



⑯

